

馨常文藝

林檎園の女 (一)

星影生

村道、さやかな流に添うて、葉小舎に包まれた古水車が休まずに廻つて居る音が、私にはよ、聞けた。紅く熟された林檎と食う様な貪慾に驅られて、腹がどさまるまで食べた。私は細く伸びた葉の落ちつくくした秋の空を眺めた。澄み渡つた樹々の枝間を縫うて名も知らぬ、憐な小鳥がさつきから何羽も空を掠めて飛び去つた。赤蜻蛉が群れて黄昏の陽に黄金の網の様に輝やいて居るのが見られた。「だつて私、あの男は大嫌ひさ、あんな女らしいのやぐさ男なんかつまらない」

募集

文藝其他一般投稿を歓迎します

国際寫真情報

世界の復興

近日中着本の著

本誌は屢に多大の好評を博したる關東大震災の姉妹篇として世界歴史上最も著名なる大地震、災害實況寫真とその物語及び帝都復興の有力な物誌を掲げるものにして、前も同誌に日頃の面目を發揮したるものなれば之亦類例の書報を壓倒して絶大の好評を博すべく、前號遅延の御申譯として著本早々迅速に配本可致候

定價一部 賣金一圓
二十錢年極一部一圓
新規御申込の方は
馨城代理部
電話二一九番
五六四番へ

讀書家新刊雜誌回讀

◇時代の潮流に棹さし豊富な智識を吸収せんとする人は

即時御加入あれ

御希望の新刊雜誌を加入者の御家庭に配達し七日毎に一冊宛を交換し一ヶ月中に五冊を閲覽に供す但冊数を減じ交換日を延ばす事を得

料 金 一ヶ月金壹圓とす一冊壹圓以上の雜誌或は倍大號等發行の月に限り多少追徴する事ある可し又月の中途加入者は日割或は冊數割とす

申込 一 御加入される方は希望雜誌五冊を指定し住所氏名明瞭にハガキへ御記入の上申込次第直ちに配本す

一 一ヶ月遅れの諸雜誌は御希望に依り五六割引にて分譲すべし

平町字長橋町三五
川崎巡回文庫

祝發刊

平町二丁目電話二三二番

清光堂本店

販賣品
書籍。雜誌。文房具
紙類。運動器具一切

松島名産

カキ 貝 御料理
カキ フライ
カキ 刺し
カキ 釜揚げ
カキ 納豆
カキ 味噌

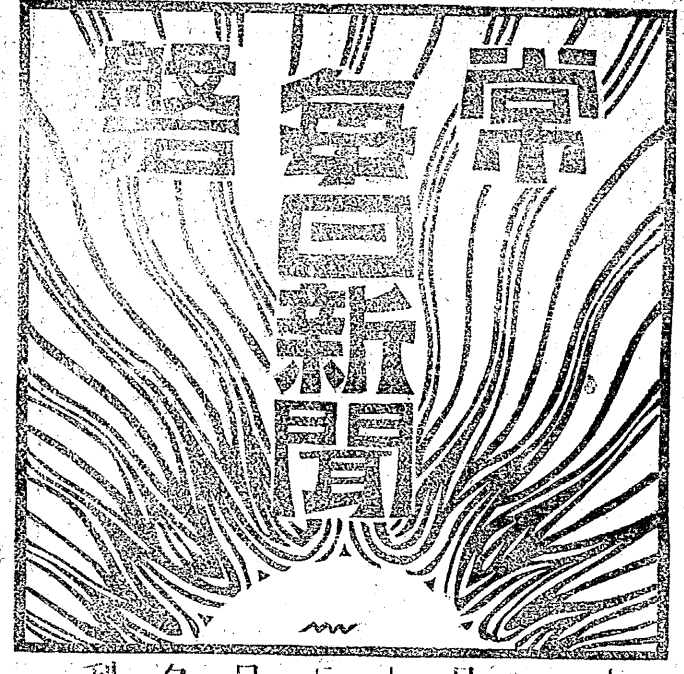
一の井

電話一六七番

祝發料亭
平郵便局裡通米京跡
電話三二二五番



「あの男がいやなら貴女、どういふ男好きなの信ちやん、林檎園の若旦那かい」
私に優しい女の語聲が聞けたので何か興味に満ちた視覚を光らせて覗く様に樹間をすかして見た、そこには若い女と二人の年増女が輪を造つて坐つて居た、處女らしい女を仲にはさんで、林檎を箕に詰めて居た年増女の顔には、たわす微笑が浮んで居る様だが、ちやうど洋畫のやうなシオンを展開して見せておいた私は何んともなく襟つたい様な心持になつて、着物の埃を拂つて立上つた、眼前には沈澱した靈感よびます様な、新鮮な紅い林檎が、黄昏の赤い光を浴びて、甘い戀を囁く處女の紅血を思はせた (續)



十一月十五日夕刊

定 一部金貳錢 月極
ニ限リ一ヶ月卅錢

廣告 五號十三字詰
一行十錢

休 日曜、大祭
刊 祝、ノ翌日

印刷所 福島縣石城郡平町
田町十六番地
磐城新聞社

發行兼編輯人 川崎文治

發行所 福島縣石城郡平町
字長橋町五番地
常務毎日新聞社



私の見た記者としての川崎君

いはらき記者 宮田三朗

其夜の川崎君は云ふ迄も無思ふ様材料を蒐めて翌曉二時頃漸く歸宅したこの事である、此間検事局と時の

平署長佐々木秀松君を除いては何人も斯る大事件の進行中である事を知らなかつたのであるから一日おいて三段抜初號標題といふ大々的報導を見た時同人一同の痛快さ加減たら無かつたのである、

斯くて川崎君は抜群の成績に依り増俸の榮譽を受けた此外記者として君の聲望を高めたる事績を擧るあらば事件の大小こそあれ研ねた手腕は隨所に異彩を放つたのであるが其等は後日の機会に譲り以上述べた非凡の事績を以て既往の川崎君を紹介すると共に前途の幸福を祈りつゝ筆を闕く、好漢自重せよ(完)



百票内外の差で 佐藤氏結局當選か

最初優勢な佐藤派が 憲派の窮策に崇らる

第四區補選補選は本日午前八時より各町村役場に於て執行されたが

投票豫想に就いては運動が猛烈であつたに頗る下馬評甚しいものがあるが一般を綜合するに佐藤派は草野氏の立候補断念と共に頗る優勢を保持するに至り各町村に於ける氣受がよく既に當選圏内に入るの觀あつたが憲派の弄せる苦肉の策に依つて佐藤氏と同名異人なる

澤渡村の佐藤庄太郎が突如五百枚の推薦状を配附するに至つた爲め政派は是れが對策を講せんと俄かに緊張振りを呈し各方面に打合せ研究の結果開票の際

幾分活況を呈した 常磐の輸送問題に悩む

各炭礦 輸送問題に悩む 信越兩毛に捌け口は有るも 搬送貨車は災禍前の三割減

常磐各炭礦の震災後に於ける輸送問題は既記の如く依然として貨車不廻りの爲め貯炭の山を築いて居るが一方常磐炭の最大需要地である東京を中心として

殆んど半減の觀あり従つて各炭礦に與へられた打撃は洵に尠くない、しかし目下の震災禍が招來した鐵道輸送状態が月餘に亘つて思はしくなかつた爲め信越、兩毛方面等が需要を阻止されたる關係上其方面に盛んな

山元では是れが輸送車に就て鐵道側と配給貨車の折衝を努め去る十四日にも常磐各炭礦聯合にて水戸運輸事務所、配給貨車の増加を陳情する等炭礦側で最初の悲觀状態から漸次に有利の途を辿りつゝあるも鐵道に於ける輸送状況は一般貨物の澁滞を見つゝある矢先容易に石炭輸送のみ

りつゝあるから現在に於ける石炭輸送は震災前一日平均七百車の輸送を見た時に比較し搬送は約三割減になつたといふ

詐欺で拘留中の漁夫は 錦村の老婆撲殺犯

本縣宮城縣下を 跨に掛けた三犯の兇賊

石城郡西倉町字新町當時住所不定漁夫宮崎三犯捕地幸吉(二〇)は去る三日茨城縣平磯町及び磯崎に於て船主を欺き金銭を詐取し湊警察署に逮捕されたが餘罪ある見込みにて廿日の拘留に處し取調中の處昨日左記強盜撲殺の大罪を白日した

務所を出獄以來本縣及び宮城縣下に亘つて強盜數件を働いた旨自白したので本日湊署刑事は平署に至り同人の犯罪捜査に關して打合せの上活動中である

音楽會

磐女校友會の 田中教諭の「嵐の曲」

縣立磐城高等女學校校友會にては來る廿五日午前十時より音楽演奏會を催す筈であるが當日は在校生の獨唱や合唱の賑しさに加へて音楽擔任の教諭田中金三郎氏が最近に求めた樂譜「嵐の曲」をピアノ演奏する由で

あつて同曲は小羊の群れ集ふ平和な夏の日が俄かに一天猛き曇つて雷鳴轟く嵐となり恐怖に顫く人々の凄愴な光景を曲の内にこめたものであつて聞く者は東都震災の慘劇を思ひ合はされ田中教諭の堪能なる彈奏に夢幻の境を彷彿するの感に耐わず多大な喝采を博すであらう

山林中にて 勞働者縊首

昨日午前十一時頃石城郡植田町字小濱地内山林内に四十位な勞働体の男が兵兒帯を吊し縊首し居たるを發見した通行人が植田署に届出たが何處の者とも判明せず屍体を町役場に引渡したと

大金を騙る 電報照會に依り

平町字舊城跡無職佐藤政志(四〇)は本月初旬青森縣九戸町の豪商某を欺き現金一萬八千九百圓を騙取行術を晦した爲め同地警察署にて嚴探中の處平町方面に入り込んだ形跡ありとて昨日午後八時電報にて取押へ方を依頼し來つたので平署栗城安田増子森の各刑事が自宅に潜伏中を逮捕した

訓盲院同窓會

磐城訓盲院にては來る廿三日午後三時より開會するべき勸業主任會の提出事項左の如し

既報石城郡役所に廿二日午前十時より開會するべき勸業主任會の提出事項左の如し

勸業協議案 石城郡役所の

(諮問事項) 稻作指導上本年の如く天候不良の際に於て好成績を収めたる方法如何、震災の結果農業上特に影響したる事項如何(指示事項) 米麥第二次採種圃計劃遂行の方法

平町人事

△出生 菅野貞雄長男武 △杉平 菅野貞雄長男武 △四丁目淺野英男(二七)田 △清水留吉長女シゲ(二六) △死亡 鈴木ヒヂ(一六) △柳町 鈴木ヒヂ(一六)

青年分團 役員選舉決定

既報平町青年分團にては團長及び副團長以外の各幹部満期の爲め選舉の結果幹事として

高野卯之吉 鈴木武雄 小齋五郎 白土喜伯 柳澤篤義 猪狩六平 金子重次 藤田榮助

軍醫演習を 平町附近にて

本縣内に於ける第一師團管下豫後備在郷軍醫團の演習は本日午後二時平町に集合今明兩日に涉り同町附近に於て演習を行ふ筈であるが第二師團司令部からは高級醫官出張統裁講評を行ふ由

常磐片々

鬼が出るか蛇が出るか投票箱が氣がかりだ

専ら佐藤庄太郎氏の當選を傳へらる

そうなれば憲派の最後ッ屁も狐に劣る事となる

いづれにしてもどうせ懸援に水た撥賣の威を借りる狐だもの知れたものさ

常磐炭の輸送益々困難に陥

鐵道省も手の下し様がない

今に國定教科書の中に「鐵道省とは炭礦泣かせの爲めに存在せる官省也」の一節が現れるかも知れない

平町附近で軍醫の演習

一萬八千九百圓の金が平町に這入つた、手を出しちやあいけない、拐帯犯が持つて來たんだ

苦境に陥つた關係上

所期の確票は幾分奪取さるゝに至つたであらうから結局僅かに百票内外の差を以つて佐藤氏の當選を見る事であらうと傳へられて居る